

# はじめに

空堀は、古代難波宮以来の大阪の市街地である上町台地に位置し、古くは豊臣時代の大阪城の外堀である惣構(そうがまえ)があったと伝えられ、江戸期の大阪開発により発展した歴史あるまちです。大阪の都心部にありながら戦災を免れた「空堀地区」には、今なお戦前のたたずまいが残っており、数多くの長屋や町家、坂道や石段、石畳の路地等が表情豊かなまちなみをつくっています。また、ご近所どうしのつながりも深く、地藏盆や初午などの祭事も盛んで、大阪がこれまで培ってきた都心居住の姿を今に伝える歴史的・文化的なまちなみとなっています。

地域住民等を中心とする空堀地区 HOPE ゾーン協議会(空堀まちなみ井戸端会)と大阪市は、こうした「空堀のまちの魅力」を再認識し、これまで親しまれてきた「まちなみ」や「空堀らしさ」をこれからどのように受け継ぎ、次代へ引き継いでいくか、地域の方々や専門家を交え、検討・話し合いを重ねてきました。

この「まちなみガイドライン」は、その中で出てきた意見やまちへの思い、そして「魅力あるまちなみづくり」の実現に向けた具体的な方策をまとめたものです。

空堀の魅力あるまちなみを将来に引き継ぐために、ひとりでも多くの方にこの「まちなみガイドライン」を利用していただきたいと思います。

---

## 目 次

---

はじめに	1
1.空堀の歴史とまちなみの特徴	2
2.HOPEゾーン事業について	4
3.まちなみガイドライン	5
3-1 空堀地区がめざす、まちなみの将来イメージ まちなみづくりのテーマ まちなみづくりの3つの方針	
3-2 修景のポイント	
3-3 修景基準	
●HOPEゾーンまちなみ修景補助制度について	13

---